

令和5年度 第10回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和5年9月25日（木）17:00～18:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：8名

有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)、井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、伊藤ゆり(大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長准教授)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、東尚弘(東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授)、新垣真太郎(沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班主任)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター診療情報管理士)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、

欠 席：2名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)

平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)

陪 席：1名

西佐和子(琉大病院がんセンター事務)

【報告事項】

1. 令和5年度 第9回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料1に基づき令和5年度第9回ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. その他

特になし。

【協議事項】

1. 第2回医療者調査

増田部会長より、増田資料1に基づき、第1回沖縄県医療者調査（平成27年度）の調査票について説明があった。増田資料2が集計結果であるとのことだった。

（1）内容について

増田部会長より、増田資料3に基づき、第1回医療者調査の質問28項目のうち7項目は、第4次沖縄県がん対策推進計画協議会案に採択せず落としたと説明があった。落とした7項目を今回の調査に含めて前回の調査結果と比較するのか。今回の調査に含めず質問数を減らし、回答者の負担を軽減するのか。または新しい質問を追加した方がよいのか。

7 項目の取扱いについて質問があった。

東委員より、離島でがん医療に従事した経験がある方が答えてくださいという質問があるが、該当なし（経験がない）という選択肢がない。回答者が答えずとばしているのか、該当しないのかが分からないので、アンケートの常識としては、その選択肢があったほうがよいとの意見があった。

埴岡委員より、協議会案のロジックモデルに沿って、その指標を継続すべく、重要なところを医療者調査で調査することを基本方針にする。質問項目数の上限を決めた上で、前回の調査との継続性をみたい質問があれば残してはどうかとの意見があった。また、予防早期発見の分野からも質問を出す必要があるのかどうかということも論点ではあるとコメントがあった。

有賀委員より、協議会で落とした項目を医療者調査に含めて、再度協議会に出しても同じ結果になるのではないかと。落とした項目は含めず、増田委員が提示している新しい質問を出してもよいのではないかととの意見があった。

井岡委員より、患者体験調査と医療者調査の結果を会話のように突き合わせてみると、現状を知るきっかけになる。そこを意識して質問を作られてはいるが、もっと意識して作られたらよいのではないかとコメントがあった。続いて、増田委員が「相談支援センターに紹介していますか？」「ピアサポーターに紹介していますか？」という2つの新しい質問を提示しているが、相談支援センターの利用割合が低いため、「相談支援センターを紹介していますか？」だけは質問に入れていただきたいとの意見があった。

伊藤委員より、あまり質問を増やしてはいけなからだと思うが、「十分な就労支援が行えていると思いますか？」という質問は、かなりざっくりとした聞き方ではないかとの意見があった。患者体験調査の質問「就労の継続についての話があった人」に関連させる聞き方でもいいのかもしれない。また、客観的指標として「療養・就労両立支援指導料」があるが、非常に少ない割合でしか使われていない。その制度があることを知っているか、患者さんに就労のことを聞いているのか、そもそも患者さんに働いているかどうかを聞いているか、いないのか。質問数に限界があると思うが、その辺りも入れてはどうかとの意見があった。

埴岡委員より、「十分ですか？」と聞いているところと「何割ですか？」と聞いているところがある。「十分ですか？」ではなく、「何割ですか？」と聞く方が、特定性が高く、アクティビティの状況がわかるのではないかととの意見があった。

（2）Web アンケートについて

東委員より、Web を併用するのであれば、重複して回答しないように番号を付けたり、番号と対応した QR コードを作るのが最適かもしれないとコメントがあった。

伊藤委員より、ひとつのパソコンで1回しか回答できない仕組みの Web アンケートがあるが、共通のパソコンを使っている病院では不具合が出てしまうかもしれないとコメン

トがあった。

(3) 調査対象者について

東委員より、前回 75%の回収率があるのであれば、全数調査でもよいのではないかと意見があった。

伊藤委員より、Web を併用するので全数調査もあり得るのではないかと意見があった。その場合、所属している対象者あたりの Web 回答数が回収率になるので、前回より回収率が落ちる可能性はあるとコメントがあった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画について

増田部会長より、県に協議会案を提出したとの報告があった。

3. 次回ベンチマーク部会開催日程について

増田部会長より、質問は 30 項目ぐらいになると思うが、どの質問を入れるかについては、再度協議する必要がある。新しい質問にも意見を出していただきたい。完成品に近い質問用紙を協議会（11/10）に提出するため、大変恐縮ですが 2 週間後を目途に開催したいとのことだった。

4. その他

特になし。